

無事に体育祭を終えることができとても嬉しく思っています。ここでは、これまでの活動の道のりを話そうと思います。

今年はコロナで修学旅行などの学校行事がどんどん消えていき、双松祭も開催されるか怪しい状況になっていました。自分たちの、高校最後の双松祭と言うこともあり、絶対に開催、成功させたいと思っていました。その中で7月中旬、各区のリーダーが決まりました、このリーダーたちは責任がとても増えますが、その中でも練習、双松祭期間でのコロナ感染者を絶対に出さないことです。そこを徹底できた所は大きいです。

今年は委員長、副委員長という制度が廃止され、リーダー全員が同じ方向に向かって行動しなければならず、最初は苦戦しました。計画を立てることの難しさ、今までにやったことのない色々な仕事などです。ですが、団長の自分よりも頼りになるリーダーがたくさんいてくれたので、なんとか進めることができました。なので、準備は順調に이었습니다。しかし、双松祭期間に入ってから一気にリーダーの難しさを知りました。まず、今年は3年生も全員参加の応援合戦となったので、パネルや団席の配慮に悩みました。そして、1年生、2年生にたくさんの事を指導する上でリーダーにするべき事を伝えなければならないのに、自分の伝達忘れなどで、双松祭練習中にリーダーだけで話し合ったりしてしまい、1、2年生は何をすればいいか分からずそのままになってしまったりグダグダになってしまう事が何回もありました。ですが、今年の2区の団員はこういうことが起きてしまってもすぐに素直にリーダーの言う事を聞いてくれ、動いてくれました。正直なことを言うと、双松祭期間に入る前まで、団員が言うことを聞いてくれなかったり勝手な行動をしてしまったらどうしようかととても不安でした。しかし、今年の2区は団員全員がお互いに協力して教えあってくれたり、難しかったりきつかったりすることもリーダーに不満を言うこともなく練習をやってくれて練習を順調に進めさせてくれました。練習中にもリーダーが迷惑をかけ、2区は応援ができなくなりそうになってしまってもその後の動きでリーダーを助けてくれて本当に感謝しかありません。そして本番でも、すべての競技でみんなが全力を出してくれました。応援合戦ではパネルもとても綺麗で感動しました。

こういう双松祭が出来たのも、団員の頑張りに1番助けられた気がします。朝からの練習もとても雰囲気良く頑張ってくれてとても助かりました。自分で言うのもですが、これだけ団結力が最高な区は今年の2区が1番だと思っています。

コロナという制限のかかった中でここまで楽しく体育祭を終えることが出来て本当に良かったです。みんなもこの年の体育祭は楽しかった！と思ってくれれば幸いです。

最後に、ここまで体育祭を完成させられたのも全ての先生、団員、家族の力があってこそだと思います。本当に感謝しています。来年もみんなが楽しめる体育祭を期待しています。本当にありがとうございました。